

5. 卒業要件について

卒業要件単位

科目区分		学科				
		数学科	物理学科	化学科	生物学科	地球科学科
教養教育科目		30				
専門教育科目	専門基礎科目	12				
	専門科目	82				
卒業要件単位 合計		124				

教養教育科目

科目区分			卒業要件単位		
			必修	選択必修	計
知的理解	現代と社会	「人文・社会科学系科目」	2単位		
	現代と生命	「生命科学系科目」	2単位		
	現代と自然	「自然科学系科目」 (注1)	2単位		
言語	英語	英語コミュニケーション1-1	0.5単位	6単位以上 (注2)	26単位
		英語コミュニケーション1-2	0.5単位		
		英語コミュニケーション2-1	0.5単位		
		英語コミュニケーション2-2	0.5単位		
		英語コミュニケーション3-1	0.5単位		
		英語コミュニケーション3-2	0.5単位		
		英語コミュニケーション4-1	0.5単位		
		英語コミュニケーション4-2	0.5単位		
		英語コミュニケーション5-1	0.5単位		
		英語コミュニケーション5-2	0.5単位		
		英語コミュニケーション6-1	0.5単位		
		英語コミュニケーション6-2	0.5単位		
		プレ上級英語	4単位		
	上級英語				
	英語特別演習1				
英語特別演習2					
初修外国語					
日本語	応用日本語 <small>※留学生のみ</small>				
実践知・感性	実践知	「実践・社会連携系科目」			
	芸術知	「芸術系科目」			
汎用的技能と健康	情報教育	情報処理入門1(情報機器の操作を含む)	1単位		
		情報処理入門2(情報機器の操作を含む)			
		情報処理入門3(情報機器の操作を含む)			
		「ICT(Information & Communication Technology)系科目」			
	キャリア教育	「キャリア教育・学生支援系科目」			
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学				
	スポーツ演習(する・みる・支える) (注3)				
アカデミック・ライティング	「アカデミック・ライティング科目」				
導入教育	補習教育	「高大接続科目」 (注4)		4単位	
	ガイダンス	自然科学入門	2単位		
		「全学ガイダンス科目」	1単位		
高年次教養	「高年次教養科目」	1単位			
合計			30単位		

注1)物理学科生については、教養物理学(力学)1及び2、教養物理学(電磁気学)1及び2、教養物理学実験は卒業要件単位に算入されません。

注2)英語科目の内、プレ上級英語、上級英語及び英語特別演習のみ選択必修に含まれ、英語コミュニケーションは含まれません。

注3)スポーツ演習(する・みる・支える)は2単位を限度として卒業要件単位に算入されます。

注4)補習教育(高大接続科目)は卒業要件単位に算入されません。

専門教育科目

○数 学 科

科目区分	履修区分	配当年次	授業科目	単位数	卒業要件単位
専門基礎科目	必修	1年次	微分積分学Ⅰa	1	8
			微分積分学Ⅰb	1	
			微分積分学Ⅱa	1	
			微分積分学Ⅱb	1	
			線形代数学Ⅰa	1	
			線形代数学Ⅰb	1	
			線形代数学Ⅱa	1	
			線形代数学Ⅱb	1	
	選択必修	1年次	現代数学要論Ⅰa	1	12
			現代数学要論Ⅰb	1	
			基礎物理学Ⅰa	1	
			基礎物理学Ⅰb	1	
			基礎物理学Ⅱa	1	
			基礎物理学Ⅱb	1	
			一般化学Ⅰ	1	
			一般化学Ⅱ	1	
			基礎有機化学Ⅰ	1	
			基礎有機化学Ⅱ	1	
			基礎生物学Ⅰa	1	
			基礎生物学Ⅰb	1	
基礎生物学Ⅱa	1				
基礎生物学Ⅱb	1				
基礎地球科学Ⅰa	1				
基礎地球科学Ⅰb	1				
基礎地球科学Ⅱa	1				
基礎地球科学Ⅱb	1				
専門科目	必修	2年次	微分積分学Ⅲa	1	30
			微分積分学Ⅲb	1	
			代数学基礎Aa	1	
			代数学基礎Ab	1	
			代数学基礎Ba	1	
			代数学基礎Bb	1	
		3年次	幾何学基礎Aa	1	
			幾何学基礎Ab	1	
			解析学基礎Aa	1	
			解析学基礎Ab	1	
			幾何学基礎Ba	1	
			幾何学基礎Bb	1	
	4年次	解析学基礎Ba	1		
		解析学基礎Bb	1		
	教理学演習	4			
	課題研究	12			
	選択及び選択必修	1年次	数学演義Ⅰa	1	82
			数学演義Ⅰb	1	
			数学演義Ⅱa	1	
			数学演義Ⅱb	1	
数学演義Ⅲa			1		
数学演義Ⅲb			1		
2年次		微分積分学Ⅲa演習	1		
		微分積分学Ⅲb演習	1		
		代数学基礎Aa演習	1		
		代数学基礎Ab演習	1		
		代数学基礎Ba演習	1		
		代数学基礎Bb演習	1		
		幾何学基礎Aa演習	1		
		幾何学基礎Ab演習	1		
		現代数学要論Ⅲa	1		
		現代数学要論Ⅲb	1		
		現代数学要論Ⅳa	1		
		現代数学要論Ⅳb	1		
3年次	代数学a	1	講義・演習 18以上		
	代数学b	1			
	代数学演習	3			
	幾何学Ⅰa	1			
	幾何学Ⅰb	1			
	幾何学Ⅱa	1			
	幾何学Ⅱb	1			
	幾何学演習	3			
	解析学Ⅰa	1			
	解析学Ⅰb	1			
	解析学Ⅱa	1			
	解析学Ⅱb	1			
解析学演習	3				
離散数学Ⅱa	1				
離散数学Ⅱb	1				
情報数学a	1				
情報数学b	1				
確率・統計a	1				
確率・統計b	1				
幾何学基礎Ba演習	1				
幾何学基礎Bb演習	1				
解析学基礎a演習	1				
解析学基礎b演習	1				
4年次	代数学特論Ⅰa	1	4以上		
	代数学特論Ⅰb	1			
	代数学特論Ⅱa	1			
	代数学特論Ⅱb	1			
	幾何学特論Ⅰa	1			
	幾何学特論Ⅰb	1			
	幾何学特論Ⅱa	1			
	幾何学特論Ⅱb	1			
	解析学特論Ⅰa	1			
	解析学特論Ⅰb	1			
	解析学特論Ⅱa	1			
	解析学特論Ⅱb	1			
2年次	情報処理論a	1			
	情報処理論b	1			
3年次	離散数学Ⅰa	1			
	離散数学Ⅰb	1			
数学特別講義	1				
関連		他学科開講科目及び共通科目			
その他		他学部開講科目		14以下	
専門教育科目卒業要件単位 合計					94

○物理 学 科

科目区分	履修区分	配当年次	授業科目	単位数	卒業要件単位				
専門基礎科目	選択必修	1年次	微分積分学 I a	1	12				
			微分積分学 I b	1					
			微分積分学 II a	1					
			微分積分学 II b	1					
			線形代数学 I a	1					
			線形代数学 I b	1					
			線形代数学 II a	1					
			線形代数学 II b	1					
			現代数学要論 I a	1					
			現代数学要論 I b	1					
			現代数学要論 II a	1					
			現代数学要論 II b	1					
			一般化学 1	1					
			一般化学 2	1					
			基礎有機化学 1	1					
			基礎有機化学 2	1					
			基礎生物学 1 a	1					
			基礎生物学 1 b	1					
			基礎生物学 2 a	1					
			基礎生物学 2 b	1					
			基礎地球科学 1 a	1					
			基礎地球科学 1 b	1					
			基礎地球科学 2 a	1					
			基礎地球科学 2 b	1					
			基礎化学実験	1					
			基礎生物学実験	1					
			基礎地球科学実験	1					
			専門科目	必修		1年次	物理学実験 1	2	18
						2年次	物理学実験 2	2	
3年次	物理学実験 3	4							
4年次	物理学課題研究	10							
選択及び選択必修	1年次	力学 1 A		1	14以上				
		力学 1 B		1					
		力学 2 A		1					
		力学 2 B		1					
	2年次	電磁気学 1 A		1					
		電磁気学 1 B		1					
		電磁気学 2 A		1					
		電磁気学 2 B		1					
	3年次	統計力学 1 A		1					
		統計力学 1 B		1					
		統計力学 2 A		1					
		統計力学 2 B		1					
	1年次	力学演習 1 A		1		6以上			
		力学演習 1 B		1					
		力学演習 2 A		1					
		力学演習 2 B		1					
		電磁気学演習 1 A		1					
		電磁気学演習 1 B		1					
		電磁気学演習 2 A		1					
		電磁気学演習 2 B		1					
	2年次	統計力学演習 1 A		1					
		統計力学演習 1 B		1					
		統計力学演習 2 A		1					
		統計力学演習 2 B		1					
3年次	量子力学演習 1 A	1		82					
	量子力学演習 1 B	1							
	量子力学演習 2 A	1							
	量子力学演習 2 B	1							
	物理学入門 A	1							
	物理学入門 B	1							
	物理数学 A	1							
	物理数学 B	1							
1年次	物理数学 C	1							
	力学 3 A	1							
	力学 3 B	1							
	物理数学 D	1							
2年次	物理数学 E	1							
	物理数学 F	1							
	振動波動 A	1							
	振動波動 B	1							
3年次	電磁気学 3 A	1							
	電磁気学 3 B	1							
	量子力学 3 A	1							
	量子力学 3 B	1							
	コンピュータ物理学 1 A	1							
	コンピュータ物理学 1 B	1							
	コンピュータ物理学 2 A	1							
	コンピュータ物理学 2 B	1							
	固体物理学 1	1							
	固体物理学 2	1							
	固体物理学 3	1							
	固体物理学 4	1							
素粒子原子核物理学 1	1								
宇宙天体物理学 1	1								
量子光学 A	1								
量子光学 B	1								
相対性理論 1 A	1								
相対性理論 1 B	1								
相対性理論 2 A	1								
相対性理論 2 B	1								
先端物理学 1	0.5								
先端物理学 2	0.5								
4年次	固体物理学 5	1							
	固体物理学 6	1							
	素粒子原子核物理学 2	1							
	相対論的量子力学	1							
宇宙天体物理学 2	1								
関連		他学科開講科目及び共通科目			8以下				
その他		他学部開講科目							
専門教育科目卒業要件単位 合計					94				

○化学科

科目区分	履修区分	配当年次	授業科目	単位数	卒業要件単位	
専門基礎科目	選択必修	1年次	基礎微分積分学Ⅰa	1	12	
			基礎微分積分学Ⅰb	1		
			基礎微分積分学Ⅱa	1		
			基礎微分積分学Ⅱb	1		
			現代数学要論Ⅰa	1		
			現代数学要論Ⅰb	1		
			現代数学要論Ⅱa	1		
			現代数学要論Ⅱb	1		
			基礎物理学Ⅰa	1		
			基礎物理学Ⅰb	1		
			基礎物理学Ⅱa	1		
			基礎物理学Ⅱb	1		
			基礎生物学Ⅰa	1		
			基礎生物学Ⅰb	1		
			基礎生物学Ⅱa	1		
			基礎生物学Ⅱb	1		
			基礎地球科学Ⅰa	1		
			基礎地球科学Ⅰb	1		
			基礎地球科学Ⅱa	1		
			基礎地球科学Ⅱb	1		
基礎物理学実験	1					
基礎生物学実験	1					
基礎地球科学実験	1					
専門科目	必修	1年次	化学英語1	1	45	
			化学英語2	1		
			有機化学1	1		
			有機化学2	1		
			有機化学3	1		
			有機化学4	1		
			分析化学1	1		
			分析化学2	1		
			基礎化学実験1	1		
			基礎化学実験2	1		
			物理化学1	1		
			物理化学2	1		
			量子化学1	1		
	量子化学2	1				
	無機化学1	1				
	無機化学2	1				
	化学実験1	2.5				
	化学実験法1	1				
	化学実験法2	2.5				
	化学実験法3	1				
	化学実験法4	2.5				
	化学実験法5	1				
	課題研究1	3				
	化学ゼミナール	2				
	課題研究2	10				
	選択及び選択必修	2年次	物理化学3	1	82	2以上
			物理化学4	1		
		3年次	物理化学5	1		
			物理化学6	1		
2年次		量子化学3	1	2以上		
		量子化学4	1			
3年次		量子化学5	1			
		量子化学6	1			
2年次		有機化学5	1	4以上		
		有機化学6	1			
3年次		有機化学7	1			
		有機化学8	1			
2年次		有機機器分析1	1	4以上		
		有機機器分析2	1			
3年次		有機化学9	1			
		有機化学10	1			
2年次	有機化学11	1	2以上			
	有機化学12	1				
3年次	有機合成化学1	1				
	有機合成化学2	1				
2年次	無機化学3	1	2以上			
	無機化学4	1				
3年次	錯体化学1	1				
	無機化学5	1				
2年次	無機化学6	1	2以上			
	無機化学7	1				
3年次	錯体化学2	1				
	錯体化学3	1				
2年次	錯体化学4	1	2以上			
	分析化学3	1				
3年次	分析化学4	1				
	分析化学5	1				
1年次	化学数学1	1				
	化学数学2	1				
3年次	化学数学3	1				
	化学数学4	1				
2年次	固体化学1	1				
	固体化学2	1				
3年次	固体化学3	1				
	その他	他学科開講科目及び共通科目		10以下		
専門教育科目卒業要件単位 合計					94	

○生物学科

科目区分	履修区分	配当年次	授業科目	単位数	卒業要件単位		
専門基礎科目	選択必修	1年次	基礎微積分学Ia	1	12		
			基礎微積分学Ib	1			
			基礎微積分学IIa	1			
			基礎微積分学IIb	1			
			現代数学要論Ia	1			
			現代数学要論Ib	1			
			現代数学要論IIa	1			
			現代数学要論IIb	1			
			基礎物理学1a	1			
			基礎物理学1b	1			
			基礎物理学2a	1			
			基礎物理学2b	1			
			一般化学1	1			
			一般化学2	1			
			基礎有機化学1	1			
			基礎有機化学2	1			
			基礎地球科学1a	1			
			基礎地球科学1b	1			
			基礎地球科学2a	1			
			基礎地球科学2b	1			
			基礎物理学実験	1			
基礎化学実験	1						
基礎地球科学実験	1						
専門科目	必修	1年次	基礎生物学A1	1	55		
			基礎生物学A2	1			
			基礎生物学B1	1			
			基礎生物学B2	1			
			生物学入門I	1			
			生物学入門II	1			
			分子生物学IA	1			
			分子生物学IB	1			
			細胞生物学IA	1			
			細胞生物学IB	1			
			植物生理学I	1			
			植物生理学II	1			
			2年次	生化学IA			1
				生化学IB			1
				分子遺伝学IA			1
				分子遺伝学IB			1
				遺伝学IA			1
				遺伝学IB			1
	発生生物学IA	1					
	発生生物学IB	1					
	生体制御学IA	1					
	生体制御学IB	1					
	神経生物学IA	1					
	神経生物学IB	1					
	生物学実験A	4					
	生物学実験B	4					
	3年次	生物英語演習I	1				
		生物英語演習II	1				
		生物学ゼミナールA	1				
	4年次	生物学実験C	4				
		生物学実験D	4				
		生物学ゼミナールB	2				
	課題研究	10					
選択及び選択必修	2年次	臨海実習I	2	2以上	82		
		臨海実習II	2				
		臨海実習III	2				
		臨海実習IV	2				
		臨海実習V	2				
	1年次	生物学特論	1				
		2年次	生化学IIA	1			
			生化学IIB	1			
	分子遺伝学IIA		1				
	分子遺伝学IIB		1				
	細胞生物学IIA		1				
	細胞生物学IIB		1				
	遺伝学IIA	1					
	遺伝学IIB	1					
	植物細胞生理学I	1					
植物細胞生理学II	1						
動物行動学I	1						
動物行動学II	1						
3年次	分子生物学IIA	1					
	分子生物学IIB	1					
	生物物理学I	1					
	生物物理学II	1					
	細胞生物学IIIA	1					
	細胞生物学IIIB	1					
	発生生物学IIA	1					
	発生生物学IIB	1					
	生体制御学IIA	1					
	生体制御学IIB	1					
生体制御学IIIA	1						
生体制御学IIIB	1						
動物生理学I	1						
動物生理学II	1						
神経生物学IIA	1						
神経生物学IIB	1						
行動神経生物学I	1						
行動神経生物学II	1						
関連		他学科開講科目及び共通科目					
その他		他学部開講科目			10以下		
専門教育科目卒業要件単位 合計						94	

○地球科学科

科目区分	履修区分	配当年次	授業科目	単位数	卒業要件単位	
専門基礎科目	選択必修	1年次	基礎微積分学 Ia	1	12	
			基礎微積分学 Ib	1		
			基礎微積分学 IIa	1		
			基礎微積分学 IIb	1		
			現代数学要論 Ia	1		
			現代数学要論 Ib	1		
			現代数学要論 IIa	1		
			現代数学要論 IIb	1		
			基礎物理学 1a	1		
			基礎物理学 1b	1		
			基礎物理学 2a	1		
			基礎物理学 2b	1		
			一般化学 1	1		
			一般化学 2	1		
			基礎有機化学 1	1		
			基礎有機化学 2	1		
			基礎生物学 1a	1		
			基礎生物学 1b	1		
			基礎生物学 2a	1		
			基礎生物学 2b	1		
			基礎物理学実験	1		
			基礎化学実験	1		
			基礎生物学実験	1		
専門科目	必修	1年次	地球科学ゼミナール 1	1	23	
			地球科学ゼミナール 2	1		
			現代地球科学 1	1		
			現代地球科学 2	1		
			現代地球科学 3	1		
			現代地球科学 4	1		
		基礎地球科学実習	1			
		2年次	地球科学ゼミナール 3	1		
			地球科学ゼミナール 4	1		
			地球科学ゼミナール 5	1		
		3年次	地球科学ゼミナール 6	1		
			地球科学ゼミナール 7	1		
	4年次	地球科学ゼミナール 8	1			
		地球科学論議	4			
	地球科学課題研究	6				
	選択必修	2年次	鉱物結晶学実験	1	6以上	
			顕微鏡岩石学実験 1	1		
			顕微鏡岩石学実験 2	1		
		3年次	地質図学実験	1		
			測量地理情報学実習	1		
			固体地球物理学実験	1		
			地球環境化学実験	1		
		大気科学実験	1			
2年次		鉱物結晶学 1	1			
		鉱物結晶学 2	1			
		造岩鉱物学	1			
	地史学	1				
	地層学	1				
	地形学概説	1				
	固体地球物理学	1				
	地球物理のための数学 1	1				
	地球物理のための数学 2	1				
	宇宙と地球の化学 1	1				
	宇宙と地球の化学 2	1				
	地球惑星化学 1	1				
	地球惑星化学 2	1				
	大気科学 1	1				
	大気科学 2	1				
	大気科学 3	1				
	大気科学 4	1				
	3年次	基礎岩石学	1			
火成岩成因論		1				
変成岩成因論		1				
地球物質反応論 1		1				
地球物質反応論 2		1				
構造地質学		1				
応用地質学		1				
変動地形学		1				
地震危険度評価論		1				
地球統計学		1				
地球形成論		1				
地球惑星内部構造論 1		1				
地球惑星内部構造論 2		1				
地球連続体力学 1		1				
地球連続体力学 2		1				
地震学 1		1				
地震学 2		1				
地球惑星化学 3		1				
地球惑星化学 4		1				
微量元素地球化学	1					
同位体年代学	1					
大気科学 5	1					
大気科学 6	1					
大気科学 7	1					
大気科学 8	1					
大気科学 9	1					
大気科学 10	1					
大気科学 11	1					
大気科学 12	1					
選択	2年次	岩石鉱物学巡検	1	36以上		
		地球科学特講 1	1			
	2~4年次	地球科学特講 2	1			
		地球科学特講 3	1			
		地球科学特講 4	1			
3年次	構造地質学巡検	1				
	地形学巡検	1				
地質調査法実習	4					
関連		他学科開講科目及び共通科目				
その他		他学部開講科目			10以下	
専門教育科目卒業要件単位 合計						94

○共 通 科 目

科目区分	履修区分	年次	授 業 科 目	単 位	備 考
専 門 科 目	関 連	1	天文学入門	1	
		2, 3	就業体験実習(インターンシップ)	1	
		2, 3	就業体験実習(インターンシップ)	2	
		3	自然系博物館実習	3	学芸員資格取得者用
		2	フロンティアサイエンティストリテラシー	1	フロンティアサイエンティスト特別コース開講科目
		2	先端科学実習	1	フロンティアサイエンティスト特別コース開講科目
		3	先取りプロジェクト研究	5	フロンティアサイエンティスト特別コース開講科目 ※卒業要件外

○複合領域科学コースにおける科目区分，授業科目，単位数及び卒業要件単位は別に定める。

6. 課題研究の履修要件(4年次進級要件)について

課題研究(化学科は課題研究2)の履修開始時期は、4月または10月とします。

また、学科によっては10月からの課題研究履修ができない場合がありますので、10月進級の可能性がある場合は、予め担任教員(または指導教員)へ相談すること。

数 学 科

- (1) 卒業要件単位を94単位以上修得していること。
- (2) 専門基礎科目の必修科目を8単位修得していること。
- (3) 2年次専門科目の必修科目を10単位修得していること。
- (4) 数学科1, 2年次開講の専門科目(必修を除く)の中から10単位以上修得していること。

物 理 学 科

- (1) 卒業要件単位を94単位以上修得していること。
 - (2) 「物理学実験1」, 「物理学実験2」及び「物理学実験3」を修得していること。
- ※ ただし、第3年次編入学学生については、上記(2)の内、「物理学実験1」及び「物理学実験2」を修得したものとみなす。

化 学 科

課題研究2の履修要件(4年次進級要件)

- (1) 卒業要件単位を96単位以上修得していること。
- (2) 3年次までの専門科目の必修科目をすべて修得していること。
- (3) 専門科目[選択必修, 選択, 他学科開講科目]を32単位以上修得していること。

※ ただし、第3年次編入学学生については、以下の要件を適用する。

- (1) 卒業要件単位を90単位以上修得していること。
- (2) 3年次までの専門科目の必修科目を29単位以上修得していること。
- (3) 3年次までの専門科目の必修科目のうち、実験をすべて修得していること。
- (4) 専門科目[選択必修, 選択, 他学科開講科目]を32単位以上修得していること。

課題研究1(3年次第4学期で履修)の履修要件

3年次第3学期開始時まで(夏季集中講義を含む)

- (1) 卒業要件単位を80単位以上修得していること。
- (2) 3年次第2学期までの専門科目の必修科目をすべて修得していること。
- (3) 専門科目[選択必修, 選択, 他学科開講科目]を26単位以上修得していること。

※ ただし、第3年次編入学学生については、以下の要件を適用する。

- (1) 卒業要件単位を74単位以上修得していること。
- (2) 3年次第2学期までの専門科目の必修科目を20単位以上修得していること。
- (3) 専門科目[選択必修, 選択, 他学科開講科目]を24単位以上修得していること。

再履修又は半年遅れて履修する場合のみ、課題研究1の第2学期での履修を認める。その場合、第1学期開始時までの修得単位で履修要件を満たすか判断する。

生 物 学 科

- (1) 卒業要件単位を100単位以上修得していること。
- (2) 教養教育科目の必修科目21単位を修得していること。
- (3) 3年次までの専門科目の必修科目をすべて修得していること。

※ ただし、岡山大学協定校への留学(EPOK等)によって3年次第3・4学期開講の必修科目を履修できなかった学生については、3年次第3・4学期必修科目を4年次に履修することを認める。この場合、課題研究は生物学科で行うものとし、履修を許可された教員のもとで課題研究を行う。

地 球 科 学 科

- (1) 卒業要件単位を96単位以上修得していること。
- (2) 教養教育科目のうち、高年次教養科目を除く必修科目20単位を修得していること。
- (3) 2年次までの専門科目の必修科目をすべて修得していること。
- (4) 3年次までの専門科目の選択必修科目のうち、実験・実習科目を6単位以上と、実験・実習科目以外の科目を26単位以上修得していること。

※ ただし、第3年次編入学学生については、上記(3)のうち、「地球科学ゼミナール5」及び「地球科学ゼミナール6」は、課題研究の履修要件に含めない。

7. 岡山大学理学部履修科目の上限設定等に関する内規

制定	平成16年	4月29日
改正	平成17年12月	8日
改正	平成21年	6月3日
改正	平成22年	3月3日
改正	平成25年	3月6日
改正	平成26年	3月5日
改正	平成28年	3月2日

(趣旨)

第1条 この内規は、岡山大学理学部規程（平成16年岡大理規程第1号）第13条の規定に基づき、岡山大学理学部における履修科目の上限設定等について定める。

(履修科目の上限)

第2条 履修科目として登録できる単位数の上限は、1年間60単位とし、次の各号に掲げるものについては、単位数の上限から除くものとする。

- 一 補習授業（初等数学，初等物理学，初等化学，初等生物学），「基礎英語」及び「その他別途通知する科目」
- 二 入学前の既修得単位を本学部において修得したものとして単位認定された科目
- 三 外部検定試験等により単位認定された科目

(雑則)

第3条 この内規の定めるもののほか、特別な事情がある場合は、学科長会の議を経て、履修科目の上限を変更することができる。

附 則

この内規は、平成16年4月29日から施行し、平成14年度入学者から適用する。

(附則 以下中略)

附 則

この内規は、平成28年4月1日から施行し、平成21年度入学者から適用する。

8. 他学部開講の専門教育科目の履修について

他学部開講の専門教育科目の履修を希望する学生は、所定の「他学部科目履修許可願」を各学科教務・学生支援委員に提出しなければなりません。

提出された他学部科目履修許可願に基づき、各学科において卒業要件単位としての算入の可否を決定し、各学科の定める上限単位までは、卒業要件単位として算入することができる場合があります。

また、各学科において、予め卒業要件単位への算入基準等を以下のとおり定めていますので、各学科の指示により履修してください。

【卒業要件単位への各学科の算入基準等】

学 科	卒業要件単位に算入可能な他学部開講専門教育科目	算入上限 単位数
数学科	<ul style="list-style-type: none"> ●教育学部開講の「教職に関する科目」※ (※他学部科目履修許可願の提出は不要です。) ●他学部科目履修許可願を提出した科目 	14
物理学科	<ul style="list-style-type: none"> ●理学部で開講されている科目の内容と重複しない物理学及び ●物理学に関連する分野の科目 (例：流体力学に関する科目，エレクトロニクスに関する科目等) 	8
化学科	<ul style="list-style-type: none"> ●理学部で開講されている科目の内容と重複しない化学及び ●化学に関連する科目 	10
生物学科	<ul style="list-style-type: none"> ●生物学に関連する科目 ●教育学部開講の「教職に関する科目」※ (※他学部科目履修許可願の提出は不要です。) 	10
地球科学科	<ul style="list-style-type: none"> ●地球科学に関連する科目 ●教育学部開講の「教職に関する科目」※ (※他学部科目履修許可願の提出は不要です。) 	10

9. 複合領域科学コース

- 1 定員
各学科学生定員の20%程度以内
- 2 内容・特色
幅広い分野の授業科目を履修することにより、複合的・学際的な学問分野に対応、進出できる学生を育成することを目的とする。
各学科の開講する専門科目を2学科以上にわたって修得し、履修を許可された教員のもとで課題研究を行い卒業する。
- 3 コース履修要件
次の各号のいずれにも該当する者とする。
(1) 2年次終了時点での全学GPA（累積）が2.80以上である者
(2) 本コースの履修を申請し、教務・学生支援委員会において許可された者
- 4 卒業要件
本コースの履修が許可された場合は、以下の卒業要件が適用されることとなる。

科目		所属学科	数学科	物理学科	化学科	生物学科	地球科学科
教養教育科目計			30単位（理学部所定の卒業要件を満たすこと）				
専 門 教 育 科 目	専門基礎科目計		12単位（所属学科所定の卒業要件を満たすこと）				
	専 門 科 目	2学科以上にわたって修得すること	所属学科専門科目（課題研究及び集中講義を除く。） 12単位以上				
			他学科専門科目（課題研究及び集中講義を除く。） 12単位以上				
	課題研究		履修を許可された研究室の教員が担当する学科において定められた単位数とする。				
	専門科目計		理学部開講科目68単位以上を含む82単位				
卒業要件単位計			124単位				

- 5 「課題研究」履修資格
課題研究を履修することができる者は、3年次終了時に上記4に掲げる卒業要件単位のうち、100単位以上を修得している者とする。
ただし、所属学科以外で課題研究の履修を希望する場合は、希望する研究室の教員の承諾を得るものとする。（この場合、各教員が受け入れる本コースの学生は2名までとする。）
- 6 注意事項
 - (1) 2年次第4学期までは、所属学科のカリキュラムに従って履修するが、複合領域科学コース希望者は、1、2年次においても可能な限り、本コースを視野に入れて授業科目を履修することが望ましい。
 - (2) 実験・演習等、授業科目によっては、他学科学生の履修が制限される場合もあるため、授業科目（課題研究を含む。）の履修に関し、事前に担当教員に受入れ基準等を確認しておくこと。
 - (3) 本コースの辞退は、願出に基づき、教務・学生支援委員会において適当と認めた場合に許可する。なお、辞退が許可された場合、所属学科のカリキュラム及び卒業要件が適用されることとなる。
 - (4) 本コースの履修が許可された者は、半年毎に履修報告書を作成しなければならない。

10. フロンティアサイエンティスト特別コース

1 定 員

理学部入学定員の10%程度

2 目 的

広範囲な自然科学の教養，自立した倫理観と判断力，広く社会へ発信できるコミュニケーション能力を持ち，新領域や学際領域も含む科学の最前線で活躍できる研究者・技術者・教育者を育成することを目的とする。

3 特 色

- (1) 所属学科のカリキュラムに加え，本コース開講科目を副専攻的に履修する。
- (2) 個人あるいはグループによる「先取りプロジェクト研究」を行う。
- (3) 自主研究・自主ゼミについては，本コースが支援を行い，「先取りプロジェクト研究」の取り組みとして認める。学修・自主研究・自主ゼミに際し，アカデミックアドバイザー（教員）の助言及びティーチングアシスタント（大学院生）の支援を受けることができ，研究機材の利用が可能である。
- (4) 希望した場合，3年次に先取りプロジェクト研究を目的とした研究室の教員の指導を受けることができる。ただし，希望研究室の教員の承諾を必要とする。
- (5) 所定の修了要件を満たした者には，卒業時に「コース修了証」を授与する。

4 コース履修要件

理学部学生のうち，本コースへの登録を申請し，2年次進級時の選抜により許可された者とする。

5 選抜方法

2年次進級時に，書類審査，面接及び1年次の学業成績により選抜する。

6 コース開講科目及びコース修了要件

コース開講科目	単位数	コース修了要件		対象年次
		単位数	必・選	
先取りプロジェクト研究	5	5	必修	3年次
フロンティアサイエンティストリテラシー	1	1	必修	2年次
先端科学実習	1	1	必修	2年次
修了要件単位数合計		7		

7 卒業要件における単位の取扱い

「先端科学実習」「フロンティアサイエンティストリテラシー」の修得単位は，専門科目（関連）共通科目として所属学科の卒業要件に算入できる。

「先取りプロジェクト研究」は，卒業要件には算入しないものとする。

インターンシップの履修について

理学部就業体験実習（インターンシップ）の概要

趣旨・目的

インターンシップ制度とは、大学で修得した学問と現場での実践との融合を図り、基礎科学とその応用についての理解を深めることを目的として、理学部の教育課程に基づき理学部の学生が取りまとめ団体の会員企業等において就業体験を行うものです。

受入企業の決定方法

インターンシップ制度登録企業等（受入先企業等）については、取りまとめ団体から理学部へ予め通知されます。

インターンシップ希望者の受入企業等については、取りまとめ団体が受入窓口となり会員企業等と調整のうえ受入先企業等を決定し、理学部へ通知されます。

インターンシップ期間等

インターンシップ期間は、原則として1週間または2週間です。

この期間中の学生に対する賃金等は、基本的には支払われません。

成績評価

学生のインターンシップ実施中の評価は受入先企業等が行い、インターンシップ終了後理学部へ報告するものとします。

理学部は、企業等からの報告に基づき単位の認定に伴う成績評価を行います。

事故対策

インターンシップ希望の学生は、賠償責任保険、傷害保険等へ加入してください。

取りまとめ団体においても、受入先企業等内での実習中の事故及び傷害に対処するため、受入企業等間の統一的な対応策を講じます。

守秘義務

インターンシップ実施中に学生が知り得た企業等内の情報について、守秘義務を負うものとする。

授業科目	就業体験実習（インターンシップ）
単 位	1単位（実習日が実質5日以上9日以下） 2単位（実習日が実質10日以上）
期 間	夏季休業中1週間または2週間
履修時期	学部2・3年次

履修～実習までの手続の流れ

1 学生への周知

理学部事務室教務学生担当窓口でインターンシップ登録企業等のリストを案内

2 申 込

希望する企業等を選び、理学部事務室教務学生担当に申し込む。
(受入人数等の制限のため、希望者から選抜を行うこともある。)

3 結果通知

理学部	→ 企業	受入依頼書を送付
企 業	→ 理学部	許可者のみ受入承諾書を送付
理学部	→ 学生	結果通知

4 事前指導

所属学科学年担任から各学生にガイダンスを行う。

5 実 習

事前に実習先の企業研究を行い、実習日程等を確認しておく。
実習に際しては、実習記録を作成し、企業の担当者から検印を受領する。

6 実習後

実習期間終了後、インターンシップ事後報告書及び実習記録を企業担当者へ提出する。

12. 外部検定試験等による単位認定について

※ 別表第1及び別表第7により、単位認定を希望する場合は、理学部事務室教務学生担当へ申し出てください。

別表第1（平成29年度以降入学者（夜間主コースを除く。））

外国語の種別	単位認定の対象とする外部検定試験	単位認定基準	単位認定の対象とする授業科目の範囲	認定可能な単位数の上限
英語	TOEIC 又は TOEIC IP	850点以上	英語コミュニケーション1-1 英語コミュニケーション1-2	5単位まで
	----- 実用英語技能検定（英検）	1級	英語コミュニケーション2-1 英語コミュニケーション2-2	
	----- 国際連合公用語英語検定試験（国連英検）	A級	英語コミュニケーション3-1 英語コミュニケーション3-2	
	----- TOEFL PBT 又は TOEFL ITP	590点以上	英語コミュニケーション4-1 英語コミュニケーション4-2	
	----- TOEFL iBT	89点以上	英語コミュニケーション5-1 英語コミュニケーション5-2	
	----- IELTS	6.5点以上	英語コミュニケーション6-1 英語コミュニケーション6-2	
	TOEIC 又は TOEIC IP	800点以上	英語コミュニケーション4-1 英語コミュニケーション4-2	3単位まで
	----- TOEFL PBT 又は TOEFL ITP	570点以上	英語コミュニケーション5-1 英語コミュニケーション5-2 英語コミュニケーション6-1 英語コミュニケーション6-2	
	TOEIC 又は TOEIC IP	700点以上	英語コミュニケーション4-1 英語コミュニケーション4-2	2単位まで
	----- TOEFL PBT 又は TOEFL ITP	540点以上	英語コミュニケーション5-1 英語コミュニケーション5-2	
	----- TOEFL iBT	74点以上	英語コミュニケーション6-1 英語コミュニケーション6-2	
	----- IELTS	6.0点以上		
	TOEIC 又は TOEIC IP	650点以上	英語コミュニケーション4-1 英語コミュニケーション4-2	1単位まで
	----- 実用英語技能検定（英検）	準1級	英語コミュニケーション5-1 英語コミュニケーション5-2	
	----- 国際連合公用語英語検定試験（国連英検）	B級	英語コミュニケーション6-1 英語コミュニケーション6-2	
----- TOEFL PBT 又は TOEFL ITP	520点以上			
----- TOEFL iBT	68点以上			
ドイツ語	ドイツ語技能検定試験（独検）	3級以上	ドイツ語初級I-1（文法） ドイツ語初級I-2（文法） ドイツ語初級I-1（読本） ドイツ語初級I-2（読本） ドイツ語初級II-1（文法） ドイツ語初級II-2（文法） ドイツ語初級II-1（読本） ドイツ語初級II-2（読本） ドイツ語初級I-1（総合） ドイツ語初級I-2（総合） ドイツ語初級II-1（総合） ドイツ語初級II-2（総合） ドイツ語中級	8単位まで
		4級	ドイツ語初級I-1（文法） ドイツ語初級I-2（文法） ドイツ語初級I-1（読本） ドイツ語初級I-2（読本） ドイツ語初級II-1（文法） ドイツ語初級II-2（文法） ドイツ語初級II-1（読本） ドイツ語初級II-2（読本） ドイツ語初級I-1（総合） ドイツ語初級I-2（総合）	4単位まで
		5級	ドイツ語初級I-1（文法） ドイツ語初級I-2（文法） ドイツ語初級I-1（読本） ドイツ語初級I-2（読本）	2単位まで
フランス語	実用フランス語技能検定試験（仏検）	3級以上	フランス語初級I-1（文法） フランス語初級I-2（文法） フランス語初級I-1（読本） フランス語初級I-2（読本） フランス語初級II-1（文法） フランス語初級II-2（文法） フランス語初級II-1（読本） フランス語初級II-2（読本）	8単位まで

			フランス語初級Ⅰ－１ (総合) フランス語初級Ⅰ－２ (総合) フランス語初級Ⅱ－１ (総合) フランス語初級Ⅱ－２ (総合) フランス語中級	
		4級	フランス語初級Ⅰ－１ (文法) フランス語初級Ⅰ－２ (文法) フランス語初級Ⅰ－１ (読本) フランス語初級Ⅰ－２ (読本) フランス語初級Ⅱ－１ (文法) フランス語初級Ⅱ－２ (文法) フランス語初級Ⅱ－１ (読本) フランス語初級Ⅱ－２ (読本) フランス語初級Ⅰ－１ (総合) フランス語初級Ⅰ－２ (総合)	4単位まで
		5級	フランス語初級Ⅰ－１ (文法) フランス語初級Ⅰ－２ (文法) フランス語初級Ⅰ－１ (読本) フランス語初級Ⅰ－２ (読本)	2単位まで
中国語	漢語水平考試 (HSK) (筆記試験のみ)	3級以上	中国語初級Ⅰ－１ (文法) 中国語初級Ⅰ－２ (文法) 中国語初級Ⅰ－１ (読本) 中国語初級Ⅰ－２ (読本) 中国語初級Ⅱ－１ (文法) 中国語初級Ⅱ－２ (文法) 中国語初級Ⅱ－１ (読本) 中国語初級Ⅱ－２ (読本) 中国語初級Ⅰ－１ (総合) 中国語初級Ⅰ－２ (総合) 中国語初級Ⅱ－１ (総合) 中国語初級Ⅱ－２ (総合) 中国語中級	8単位まで
		2級	中国語初級Ⅰ－１ (文法) 中国語初級Ⅰ－２ (文法) 中国語初級Ⅰ－１ (読本) 中国語初級Ⅰ－２ (読本) 中国語初級Ⅱ－１ (文法) 中国語初級Ⅱ－２ (文法) 中国語初級Ⅱ－１ (読本) 中国語初級Ⅱ－２ (読本) 中国語初級Ⅰ－１ (総合) 中国語初級Ⅰ－２ (総合)	4単位まで
		1級	中国語初級Ⅰ－１ (文法) 中国語初級Ⅰ－２ (文法) 中国語初級Ⅰ－１ (読本) 中国語初級Ⅰ－２ (読本)	2単位まで
韓国語	韓国語能力試験	2級以上	韓国語初級Ⅰ－１ (文法) 韓国語初級Ⅰ－２ (文法) 韓国語初級Ⅰ－１ (読本) 韓国語初級Ⅰ－２ (読本) 韓国語初級Ⅱ－１ (文法) 韓国語初級Ⅱ－２ (文法) 韓国語初級Ⅱ－１ (読本) 韓国語初級Ⅱ－２ (読本) 韓国語初級Ⅰ－１ (総合) 韓国語初級Ⅰ－２ (総合) 韓国語初級Ⅱ－１ (総合) 韓国語初級Ⅱ－２ (総合) 韓国語中級	8単位まで
		1級	韓国語初級Ⅰ－１ (文法) 韓国語初級Ⅰ－２ (文法) 韓国語初級Ⅰ－１ (読本) 韓国語初級Ⅰ－２ (読本) 韓国語初級Ⅱ－１ (文法) 韓国語初級Ⅱ－２ (文法) 韓国語初級Ⅱ－１ (読本) 韓国語初級Ⅱ－２ (読本) 韓国語初級Ⅰ－１ (総合) 韓国語初級Ⅰ－２ (総合)	4単位まで
スペイン語	スペイン語技能検定	4級以上	スペイン語ベーシック 1 スペイン語ベーシック 2 スペイン語ベーシック 3 スペイン語ベーシック 4 スペイン語ステップアップ	8単位まで
		5級	スペイン語ベーシック 1 スペイン語ベーシック 2	4単位まで

			スペイン語ベーシック 3 スペイン語ベーシック 4	
		6級	スペイン語ベーシック 1 スペイン語ベーシック 2	2単位まで
イタリア語	実用イタリア語検定	3級以上	イタリア語ベーシック 1 イタリア語ベーシック 2 イタリア語ベーシック 3 イタリア語ベーシック 4 イタリア語ステップアップ	8単位まで
		4級	イタリア語ベーシック 1 イタリア語ベーシック 2 イタリア語ベーシック 3 イタリア語ベーシック 4	4単位まで
		5級	イタリア語ベーシック 1 イタリア語ベーシック 2	2単位まで

- 備考 1 成績評価の評語は、「認定」とする。
2 一の授業科目について、同一科目名の繰り返し履修が可能な授業科目を除いて、重複して単位認定を行うことはできない。
3 既に単位を修得済みの授業科目について、同一科目名の繰り返し履修が可能な授業科目を除いて、重複して単位認定を行うことはできない。

別表第7 (平成28年度以降入学者(夜間主コースを除く。))

海外語学研修の実施機関	単位認定基準	単位認定の対象とする授業科目の範囲	認定可能な単位数の上限
南オレゴン大学	南オレゴン大学の成績評価がD(下級)以上	・教養教育科目言語科目の英語科目のうち、英語コミュニケーション1-1～6-2を除く全ての授業科目 ・専門教育科目のうち、各学部が認める授業科目	2単位まで
アデレード大学	アデレード大学の成績評価がD以上	・教養教育科目言語科目の英語科目のうち、英語コミュニケーション1-1～6-2を除く全ての授業科目 ・専門教育科目のうち、各学部が認める授業科目	4単位まで
エクセター大学 (INTO エクセター大学)	エクセター大学 (INTO エクセター大学)の全ての成績評価項目が Satisfactory 以上で、かつ、最終試験結果が60%以上	・教養教育科目言語科目の英語科目のうち、英語コミュニケーション1-1～6-2を除く全ての授業科目 ・専門教育科目のうち、各学部が認める授業科目	4単位まで
ルール大学ボーフム	ルール大学ボーフムの成績評価が60点以上	・ドイツ語中級 ・専門教育科目のうち、各学部が認める授業科目	4単位まで
成均館大学校	成均館大学校の初級1クラスにおいて、成績評価が60点以上	韓国語初級Ⅱ-1(文法) 韓国語初級Ⅱ-2(文法) 韓国語初級Ⅱ-1(読本) 韓国語初級Ⅱ-2(読本)	4単位まで
	成均館大学校の初級2クラス以上のクラスにおいて、成績評価が60点以上	韓国語中級 韓国語初級Ⅱ-1(総合) 韓国語初級Ⅱ-2(総合)	4単位まで
上海理工大学	上海理工大学の成績評価が60点以上	中国語中級	2単位まで
吉林大学	吉林大学の初級1クラスにおいて、成績評価が60点以上	中国語初級Ⅱ-1(文法) 中国語初級Ⅱ-2(文法) 中国語初級Ⅱ-1(読本) 中国語初級Ⅱ-2(読本)	4単位まで
	吉林大学の初級2クラス以上のクラスにおいて、成績評価が60点以上	中国語中級 中国語初級Ⅱ-1(総合) 中国語初級Ⅱ-2(総合)	4単位まで
首都師範大学	首都師範大学の初級1クラスにおいて、成績評価が60点以上	中国語初級Ⅱ-1(文法) 中国語初級Ⅱ-2(文法) 中国語初級Ⅱ-1(読本) 中国語初級Ⅱ-2(読本)	4単位まで
	首都師範大学の初級2クラス以上のクラスにおいて、成績評価が60点以上	中国語中級 中国語初級Ⅱ-1(総合) 中国語初級Ⅱ-2(総合)	4単位まで

- 備考 1 成績評価の評語は、「認定」とする。
2 一の授業科目について、同一科目名の繰り返し履修が可能な授業科目を除いて、重複して単位認定を行うことはできない。
3 既に単位を修得済みの授業科目について、同一科目名の繰り返し履修が可能な授業科目を除いて、重複して単位認定を行うことはできない。
4 授業科目の一部として上記が実施され、同科目の単位を修得した場合、重複して単位認定を行うことはできない。

13. 岡山大学理学部における他の大学又は短期大学の専門教育 科目履修に関する内規

平成16年4月29日

学 部 長 裁 定

(趣旨)

第1条 この内規は、岡山大学理学部規程（平成16年岡大理規程第1号）第18条第2項の規定に基づき、理学部学生が他の大学（外国の大学を含む。）又は短期大学（外国の短期大学を含む。）の専門教育科目の履修（以下「他大学等履修」という。）に関して必要な事項を定めるものとする。

(出願手続)

第2条 理学部学生が、他大学等履修を希望するときは、次の各号に掲げる書類を提出することにより、理学部長に願い出るものとする。

- 一 他大学（短期大学）授業科目履修願（別紙様式）
- 二 その他必要とする書類

(許可)

第3条 他大学等履修の許可は、教授会・協議会の議を経て行う。

(単位の認定)

第4条 他大学等履修で修得した単位は、30単位を限度として教授会・協議会で認定のうえ卒業要件単位として取り扱うことができる。

(その他)

第5条 この内規の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この内規は、平成16年4月29日から施行し、平成16年4月1日から適用する。

14. 授業, 単位, 履修, 試験等について

授業, 単位

授業は、講義、演習、実験、実習のいずれかの方法によりまたはこれらの二以上の併用により行われます。

授業科目の1単位当たりの学修は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成されることを標準とし、授業内容の方法による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数が定められています。

専門教育科目（1単位）

授業の種類, 方法	授業による学修時間	授業時間外の学修時間
講義	15時間	30時間
演習	15時間又は30時間	30時間又は15時間
実験, 実習	30時間又は45時間	15時間又は0時間
課題研究	必要な学修等を考慮して, 単位数を定める。	

履修登録

岡山大学学則、理学部規程及び単位修得要領等に従って、各自履修計画を立て、各年度ごとの授業時間割表・シラバス等により、履修を希望するすべての授業科目を各学期の始めに履修登録します。(理学部学生を対象としていない他学部開講科目の履修については、授業担当教員の許可を受けること。) 履修登録は指定された期間中に学生が大学内のパソコンを操作してコンピュータ登録します。(履修登録のない科目の単位修得は認められません。)

また、履修登録の手続期間以外は、原則として履修科目の変更(追加登録・取り消し)は認められません。集中講義の履修登録については掲示等によりその都度指示します。

試験(理学部専門教育科目)

- 1 試験時期
各授業担当教員の指示によって行われます。
- 2 受験心得
受験にあたっては、別に示される受験心得や各授業担当教員の指示に従って受験すること。
- 3 受験延期
病気その他やむを得ない理由により試験の受験延期を希望する場合は、「受験延期願(所定用紙)」に、医師の診断書等その理由を証明する書類等を添付して、試験日前日までに(やむを得ない場合は可能となった後直ちに)理学部事務室教務学生担当へ提出してください。
受験延期願を提出した者は、各授業担当教員の判断により追試験が実施されることがあります。
(教養教育科目は履修の手引を参照のこと。)

単位修得

単位の修得は、授業の2/3以上出席したものにつき、試験、報告書及び平素の成績を考慮して各授業担当教員が判定します。

成績評価

評語	評点	基準等
A+	90点～100点	合格(単位を授与する。)
A	80点～89点	
B	70点～79点	
C	60点～69点	
F	0点～59点	不合格(単位を授与しない。)

なお、授業科目によっては、「修了」または「認定」の標語をもって合格の評価とすることがあります。

理学部成績評価の基準

1. 成績評価は授業の教育目標に対する学習者の到達度をみるものであり、その目標と評価の方法は可能な限り具体的にシラバスに明記する。
2. 成績評価は、授業の形態（講義、実験、実習、演習、実技等）と内容に対応した適切で多面的な方法により行い、期末筆記試験などの単一手段のみによる一面的評価に偏重しないようにする。
3. 成績評価には、授業時間外の自己学習を通じて得られた学習成果が適切に反映されるように努める。
4. 同一科目について複数のクラスが開講される場合には、できる限り評価基準を統一し、担当教員による評価の個人差が生じないようにする。また、異なる科目の成績評価においても担当教員による著しい個人差が生じないように努める。
5. 成績評価の基準や方法に関する学生からの質問や疑問には適切に対応する。

成績通知

履修登録科目の成績は、学期末に公開（各自がコンピュータで確認）します。

なお、岡山大学では、保護者との連携により、学生に適切な修学指導を行うことを目的として、毎年度3月（入学した年度のみ9月と3月）に保護者の方へ成績を通知します。

他大学等の授業科目の履修について

他大学等の授業科目の履修が理学部で認められた場合は、履修して修得した単位が本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができます。

他大学の授業科目の履修を希望する者は、所定の手続により履修を申し出ること。

（「岡山大学理学部における他の大学又は短期大学の専門教育科目履修に関する内規」を参照）

その他

学生に関係あることは、事務室教務学生担当又は各学科の掲示板で連絡するので、見落とさないよう注意すること。

《 受 験 心 得 》

受験にあたっては、次の各事項に留意してください。

- ① 受験する学生は特別の指示がない限り、試験開始時刻の5分前までに所定の教室に入室を完了すること。
- ② 監督者が指定した座席において受験すること。
- ③ 受験中は必ず学生証を机の上に置くこと。
ただし、学生証を紛失又は忘れた場合は、監督者に申し出て、その指示に従うこと。
- ④ 受験中、机の上に置くことができるのは、学生証、筆記用具及びその他特に許可されたものに限る。それ以外の携行品はカバン等に入れて、座席の下に置くこと。また、机の棚板（物入れ）には何も置かないこと。
- ⑤ 携帯電話や音の出る機器は、必ず電源を切っておくこと。
- ⑥ 解答用紙には、所属学部名、入学年、番号及び氏名等の必要事項を必ず万年筆又はボールペンで記入すること。
- ⑦ 試験開始後20分を経過するまでは退室できない。
- ⑧ 試験開始後20分を経過した場合は入室できない。
- ⑨ 答案用紙は、特に指定がない場合、教卓上に提出するか、又は監督者に直接手渡すこと。
自己の机の上に置いて退出すると当該授業科目の単位は認定しない。
- ⑩ 受験にあたっては、厳正な態度で臨み、誤解を招くような態度や不正行為は厳に慎むこと。

なお、監督者の指示に従わない者、及び不正行為があると認められた者に対しては、学則第58条（大学院学則第49条）により厳重な懲戒処分を行う。

懲戒処分の対象となる行為は次のとおりである。ここで、試験時間中とは、解答の開始から答案の提出までをいう。

- 1) 代理（替玉）受験をしたり、させたりすること
- 2) 試験時間中に、使用が許可されていないノート及び参考書等並びに電子機器類その他不正行為の手段となり得る物品を参照すること又は使用すること
- 3) 試験時間中に、言語、動作又は電子機器類等により他人に教示すること又は教示を受けて解答に利用すること
- 4) 答案を交換すること
- 5) 試験時間中に、他の学生の答案をのぞき見すること
- 6) 試験時間中に、使用が許可されたノート及び参考書等並びに電子機器類を貸借すること
- 7) 所持品、電子機器類、身体、机又は壁等にかき込みをして試験に臨むこと
- 8) 不正行為を幫助すること
- 9) 試験時間中に、不正行為の手段となり得る物品を机の棚板（物入れ）に置いておくこと
- 10) 不正行為を行おうとすること又は監督者の注意若しくは指示に従わないこと
- 11) その他、試験の公正な実施を妨げる行為をすること

また、不正行為を行った場合は、当該行為が行われた時点において既に単位が認定されている授業科目を除いて、当該学期に履修している全ての授業科目（学期をまたがって履修する授業科目を含む。）の単位は認定しない。

15. 試験における不正行為の取扱い

〔平成27年2月19日
学 長 裁 定〕

改正 平成28年 2月23日

- 1 この取扱いは、岡山大学学生の懲戒等に関する規則（平成28年岡大規則第 号。以下「規則」という。）第20条の規定に基づき、岡山大学が実施する試験において不正行為を行った学生の取扱いについて定める。
- 2 試験における不正行為（以下「不正行為」という。）とは、以下の行為をいう。なお、試験時間中とは、解答の開始から答案の提出までをいう。
 - 一 代理（替玉）受験をしたり、させたりすること
 - 二 試験時間中に、使用が許可されていないノート及び参考書等並びに電子機器類その他不正行為の手段となり得る物品を参照すること又は使用すること
 - 三 試験時間中に、言語、動作又は電子機器類等により他人に教示すること又は教示を受けて解答に利用すること
 - 四 答案を交換すること
 - 五 試験時間中に、他の学生の答案をのぞき見すること
 - 六 試験時間中に、使用が許可されたノート及び参考書等並びに電子機器類を貸借すること
 - 七 所持品、電子機器類、身体、机又は壁等へ書き込みをして試験に臨むこと
 - 八 不正行為を幫助すること
 - 九 試験時間中に、不正行為の手段となり得る物品を机の棚板（物入れ）に置いておくこと
 - 十 不正行為を行おうとすること又は監督者の注意若しくは指示に従わないこと
 - 十一 その他、試験の公正な実施を妨げる行為をすること
- 3 不正行為を行った者には、直ちに解答を止めさせ、試験終了まで当該試験室で待機させる。

ただし、試験実施上、他の受験者に迷惑を及ぼすと判断される場合は、退室を命じ、試験終了まで、所属学部等の教務担当事務で待機させる。
- 4 不正行為が判明した場合、当該学生の所属する学部長（研究科長）は、当該学生に対し直ちに謹慎を命ずる。
- 5 当該学生が所属する学部（研究科）は、不正行為を行おうとする意思が明らかでない場合を含め、不正行為者の動機、手段等について詳細に調査し、処分の程度を慎重に

審議する。

- 6 不正行為が判明した場合は、当該行為が行われた時点において既に単位が認定されている授業科目を除いて、当該学生が当該学期に履修している全ての授業科目（学期をまたがって履修する授業科目を含む。）の単位は認定しない。
- 7 共謀の不正行為にあつては、依頼者及び被依頼者とも原則として同一の処分とする。
- 8 停学期間は、3月を超えるものとし、始期は不正行為のあった日の翌日とする。
- 9 この取扱いは、平成28年4月1日から適用する。

16. 岡山大学理学部における成績評価異議申立に関する要項

〔平成27年11月 4日〕
〔理学部学科長会承認〕

(趣旨)

第1条 この要項は、岡山大学の学生が、当該学生が履修した理学部開講科目に係る成績評価に対し異議申立を行う場合の手続について、必要な事項を定めるものとする。

(異議申立事由)

第2条 学生は、当該期の履修科目に係る成績評価について、異議ある場合は担当教員へ説明を求めることができる。担当教員からの説明を了承できず、かつ、次の各号の一に該当する場合に、理学部長へ異議を申し立てることができる。

- 一 成績の誤記入等、担当教員の誤りであると思われるもの
- 二 シラバス又は担当教員の説明等により周知している成績評価の方法から逸脱した評価であると思われるもの
- 三 その他異議申立を行うにあたり合理的又は客観的な根拠があると思われるもの

(異議申立手続)

第3条 異議を申し立てようとする学生は、履修科目の成績評価についての異議申立書(別紙様式1。以下「異議申立書」という。)を理学部教務学生担当に提出しなければならない。

- 2 異議申立ができる期間は、当該成績評価の開示日から原則として8日以内とする。
- 3 学生から異議申立があった場合、理学部長は異議申立書の写しを当該授業担当教員に送付する。
- 4 当該授業担当教員は、速やかに、履修科目の成績評価についての異議申立に係る回答書(別紙様式2。以下「回答書」という。)により、理学部長へ回答する。
- 5 理学部長は、当該授業担当教員から提出のあった回答書の内容を調査・確認し、必要と認めるときは、当該授業担当教員からさらに詳細な説明を求め、又は成績評価の訂正を求めることができる。
- 6 理学部長は、異議申立書を受理した日から原則として8日以内に、当該異議申立の結果を文書により学生へ回答するものとする。

附 則

この要項は、平成27年11月 4日から施行し、平成28年度開講科目の成績評価から適用する。

17. 岡山大学理学部表彰内規

平成23年 3月 9日
学 部 長 裁 定

(目的)

第1条 岡山大学理学部(以下「理学部」という。)における自然科学(理学)教育の充実・発展を図るため、「学業及び人物の優れた学生」並びに「自然科学(理学)教育に顕著な業績をあげた職員」等を表彰することを目的とする。

(表彰)

第2条 表彰は、「理学部長賞」、「第2年次終了時優秀者賞」及び「教育貢献賞」とする。また、「理学部長賞」及び「教育貢献賞」については、表彰状および記念品を授与するものとし、「第2年次終了時優秀者賞」については、表彰状を授与する。

(理学部長賞)

第3条 理学部長賞は、理学部を卒業する学生のうちから学業及び人物の優れた者に授与する。

- 2 候補者は、3月上旬までに理学部各学科ごとに1名を理学部長に推薦する。
- 3 選考は、原則として3月定例学科長会で行う。
- 4 授与日は、3月卒業式当日とする。

(第2年次終了時優秀者賞)

第4条 第2年次終了時優秀者賞は、理学部第2年次を終了した学生のうちから成績優秀者に授与する。

- 2 候補者は、3月末までに理学部各学科ごとに若干名を理学部長に推薦する。
- 3 選考は、原則として4月定例学科長会で行う。
- 4 授与日は、理学部長が定める。

(教育貢献賞)

第5条 教育貢献賞は、理学部に勤務する職員に授与する。

- 1 候補者は、各学科、附属臨海実験所、附属界面科学研究施設及び職員が理学部長に推薦(自薦を含む。)する。
- 2 前項の推薦のあったときは、別に定める選考基準により学科長会が選考を行う。
- 3 授与日は、理学部長が定める。

(表彰状)

第6条 表彰状は、別紙のとおりとする。

附 則

この内規は、平成23年3月9日から施行する。